外国語活動（教科型）　学習指導案

学校名　　海田町立海田小学校
授業者　　HRT　坂倉　洋平
ﾊﾟﾜｰｱｯﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ　清水由美子

１　日　時　　令和元年７月１０日（水）　第５校時
２　学　年　　第６学年２組　男子２０名　女子１１名　計２８名
３　単元名　　Dream 6-3　He is famous. She is great.　日本や世界で活躍する日本人
＜We Can! 2　Unit 3　He is famous. She is great.（人物紹介，動作，様子，職業）＞

４　単元について

○　本単元は，これまでの外国語活動で慣れ親しんできた語句や表現を使って，英語の文構造に気付かせ，それらを用いて自分や第三者を紹介する文を言ったり書いたりすることを目指している。この単元での新出表現はなく，これまでに音声で十分に慣れ親しんだ文を取り上げ，どのような語順になっているのかに気付き，それを意識して表現するように，単元を構成している。

単元末の活動として，外国人に知ってもらいたい「すごい日本人！」について，「なりきり自己紹介」の形式で紹介するというゴールを設定し，相手・目的意識をもって学習を進めるようにしている。第三者を紹介する際に必要な表現として児童が活用できる既習表現は be 動詞（He/She is）と can のみで，一般動詞は活用できないため，既習の一般動詞を使えるように，「なりきり」という手法をとり，１人称･２人称を用いて紹介する。また，友達の紹介したい人物を知るために「Who am I?」クイズで聞き手を意識しながらやり取りを行うことで，協働的な学びを通して自分たちの言いたいことを自分たちの力で表現し，自分たちの気持ちや考えをより深く交流できる単元構成としている。

○　本学年の児童は，第１，２学年時に年間７時間，第３学年時に年間 13 時間，４学年時に年間 35 時間，第５学年ではモジュール授業も活用した年間 70 時間の外国語活動を学んできている。（１～３年は裁量時間，４・５年は先行実施）。また，第３学年からは毎日各学級で「ひとくち英語」に取り組み，外国語に触れている。

本学級の児童は，普段から真面目に授業に取り組んでおり，十分に準備をした内容であれば表現しようという姿勢は見られるが，自分から進んで表現しようという意欲の高い児童はあまり多くなく，少しでも表現に自信がない内容ではなかなか声が出なかったり，即興的なやり取りに対して不安な様子を見せたりすることがある。

また，６月に行った外国語活動（英語）についてのアンケート調査によると，次のような実態があることが分かった。

番号		項目	肯定的回答の割合（人数）
肯定的回答の多い項目	③	もっと英語を学びたいと思います。	96％(28 人中 27 人)
	④	外国語活動（英語）の授業に進んで参加しています。	96％(28 人中 27 人)
	⑦	相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば，どのイラストや写真のことを話しているか分かります。	96％(28 人中 27 人)

否定的回答の多い項目	②	外国語活動（英語）の授業以外で英語を使ってみたいと思います。	70%（28 人中 19 人）
	⑨	英語でやり取りをする時には，相手の言ったことにうなずいたり，英語で返事したりしています。	70%（28 人中 19 人）
	⑪	英語でやり取りや発表をする時には，自分の考えや気持ちなどを伝えています。	78%（28 人中 21 人）

③，④と②の結果と授業の様子から，学習意欲は高く，授業に進んで参加しているが，授業で学んだことを日常生活で使う機会が少なく，学んだことを活かして英語を使おうという意欲をもてていないことが分かった。また，⑦と⑨，⑩の結果と教師の見取りから，視覚的支援を添えながら数多くの英語を聞く活動を積み重ねてきた成果として，児童が聞くことに慣れしんではいるが，自分から話すことや反応することには十分に慣れ親しんでおらず，適切な反応や会話の継続ができていないことが分かった。

○　指導に当たっては，単元のゴールとなる活動に向けて，目的意識をもった言語活動を積み重ねていくことで，児童が様々な表現に慣れ親しみ，自信をもって自分の紹介したい人物について伝えられるようにする。毎時間の Small Talk で，単元末の活動に活用できる表現を用いたやり取りを積み重ね，単元のゴールとなる活動の状況設定を明確にして，ゴールに向けての発表の準備や，やり取りの体験をさせることで，他者に配慮しながら伝えられるようにさせる。

また，「主語＋動詞＋目的語」の語順に気付くよう，聞いた内容を，自分で動詞カードを並べて確認したり，自分が表現したいことを同じカードを用いて並べたりする活動を行い，板書でも同じカードを並べて全体で交流したりする工夫を取り入れる。

さらに，授業の中で児童が英語で自由にやり取りを行う時間を設けたり，毎日の「ひとくち英語」や英語による学校放送を行ったりすることで，日常的に英語に触れ，児童の英語に対する不安を軽減させて安心してやり取りのできる雰囲気を作る。

５　単元の目標

【コ】他者に配慮しながら，第三者について伝え合おうとする。
【慣】自分や第三者について聞いたり言ったりする。
【慣】語順を意識して，自分やある人について紹介したり，例を参考に紹介する文を書いたりする。
【気】「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付く。

６　単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
①他者に配慮しながら，第三者について伝え合おうとしている。	①自分や第三者について聞いたり言ったりしている。 ②語順を意識して，自分やある人について紹介している。 ③語順を意識して，例を参考に紹介したい人物について，紹介文を書いている。	①「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付いている。

7　言語材料

【表現・語彙例】

○I am (Ken).　I [like / play] [the violin / baseball].　I [have / want] a new [recorder / ball].
I eat (spaghetti).　I study (math).　I can [swim / cook / skate / ski / sing / dance].
I can (play baseball well).　Who is this?　[He / She] is [famous / great].

○famous, nut, old, 身の回りの物 (racket), jungle

【既出表現・語彙】

he, she, 動物，飲食物，スポーツ，身の回りの物，教科，動作，状態・気持ち

＜関連する学習指導要領（新）における領域別目標（太字は単元の重点目標）＞

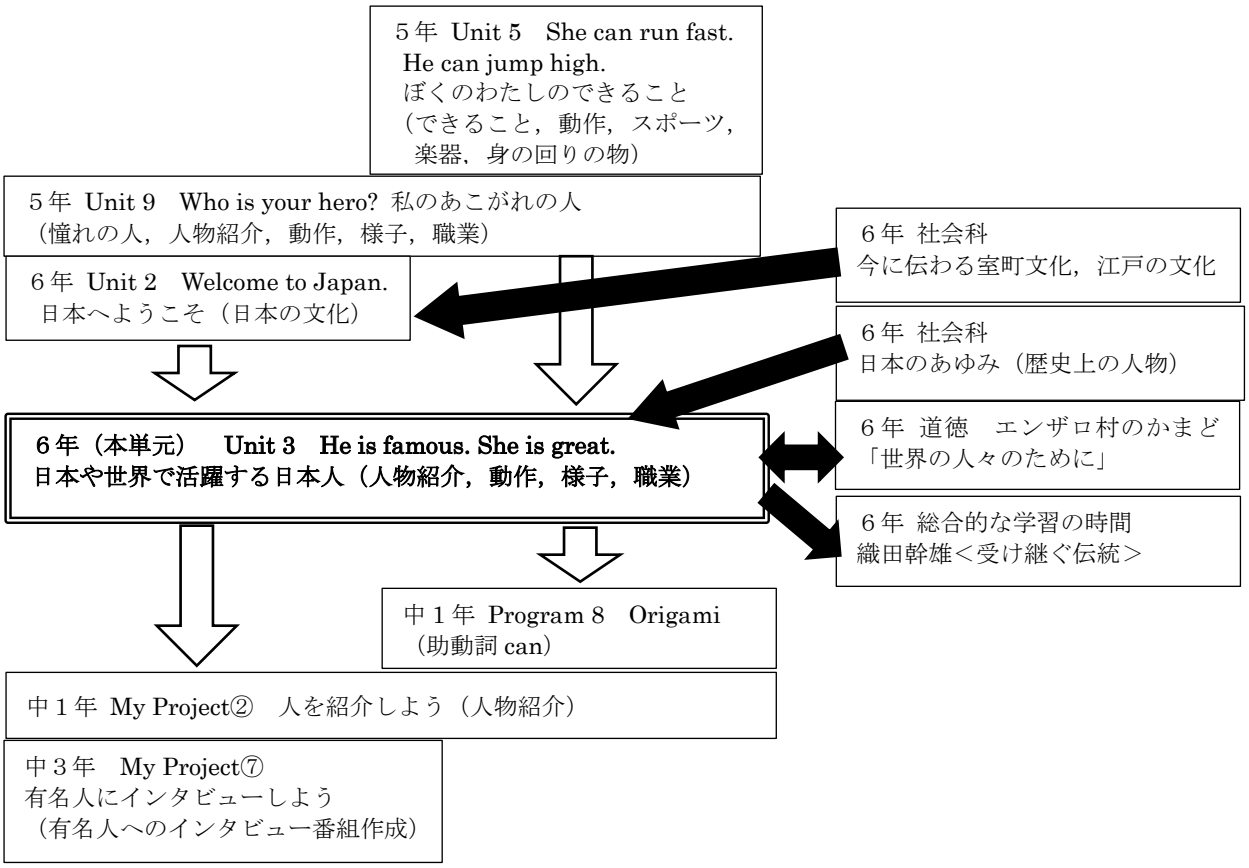
聞くこと	イ　ゆっくりはっきりと話されれば，日常生活に関する身近で簡単な事柄について，具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
読むこと	イ　音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと（やり取り）	**イ　日常生活に関する身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。**
話すこと（発表）	**ウ　身近で簡単な事柄について，伝えようとする内容を整理した上で，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。**
書くこと	**イ　自分のことや身近で簡単な事柄について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。**

＜単元のゴール＞　「すごい日本人！」Who am I? クイズと紹介

コミュニケーションの目的・場面・状況	・友達が紹介したいと思っている「すごい日本人！」を知るために，質問をして誰かを当てる「Who am I? クイズ」を行う。 ・ALT や外国の方々に，「すごい日本人」を知ってもらうために，自分の好きな「すごい日本人」をカードにして紹介する。
目指す発話例	【Who am I? クイズ】 S1: I am an athlete. S2: Do you like baseball?　S1: No, I don't. S3: Do you have a medal?　S1: Yes, I do.　I have a gold medal. S4: Are you from Kaita?　S1: Yes, I do. S5: Can you jump long?　S1: Yes, I can. SS: Are you Mr. Oda Mikio?　S1: Yes.　I'm Oda Mikio. 【紹介】 I am Oda Mikio.　I am from Kaita.　I like sports.　I am a triple jumper. I have a gold medal.　I can jump long.　（感想）He is great!

★他学年・他教科との関連

【題材】　　【文構造】　　【他教科】



8　単元計画（８時間）

時	目標と主な活動	表現・会話例	評価規準(方法)
1	【慣】自分や第三者について聞いたり言ったりする。 **「すごい日本人！」について聞いたり言ったりしよう。** ○【Teachers' Talk】先生たちの「すごい日本人！」 Who am I? クイズと紹介 **㊟この単元で取組む課題を知り，単元の見通しをもつ。** ○「誰になりきって話しているかを考えよう。」 ○「『すごい日本人！』を紹介してみよう。」 ○「外国の人に紹介したい『すごい日本人』とその理由を言おう。」	I am an athlete. I am a high school student. I can play table tennis very well. Who is this? This is Mr. Harimoto Tomokazu. He is strong. ・状態・気持ち (famous, great, cool, cute, strong, smart, funny, gentle など)	【慣①】自分や第三者について聞いたり言ったりしている。 （行動観察，ワークシート点検，振り返りカード分析）
2	【慣】自分や第三者について聞いたり言ったりする。 【気】「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付く。	I like sports. I like baseball.	【慣①】自分や第三者について

	いろいろな人物について話そう。 ○【Small Talk】すきな食べ物や動物 （p.20【Key-Word Game】apples～cats の音声使用） ○「だれのことを話しているか考え，４線に名前を書き，絵カードを置こう。」（自作ワークシート） ○「ワークシートに絵カードを置いて，写真の人物になったつもりで話そう。」 ○「自分が（ペアで）紹介したい人物を決めよう。」 ○【Sounds and Letters】① h（ワークシート Unit 3-2）	I can play baseball well. I have an old glove. I want a new glove.	聞いたり言ったりしている。 【気①】「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付いている。 （行動観察，ワークシート点検，振り返りカード分析）
3	【慣】語順を意識して，自分やある人について紹介する。 【気】「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付く。 **紹介したい人物になりきって自己紹介しよう。** ○【Small Talk】ほしいものや持っているもの （p.20【Key-Word Game】a dog～a watch 音声使用） ○【Small Talk】先生たちの選んだ「すごい日本人！」 ○【Let's Listen 1】だれのことかを聞いて，名前を表に書こう。（p.24） ○「人物カードを見て，その人になりきって自己紹介をしてみよう。」 ○「自分が紹介したい人物になりきって，自己紹介をしよう。」 ○【Sounds and Letters】② j（ワークシート Unit 3-3）	I'm Hanyu Yuzuru. I have two gold medals. I can skate very well. My nickname is Yuzu. I like Winnie the Pooh.	【慣②】語順を意識して，自分やある人について紹介している。 【気①】「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付いている。 （行動観察，ワークシート点検，振り返りカード分析）
4	【慣】語順を意識して，自分やある人について紹介する。 **紹介したい人物について話そう。** ○【Small Talk①】好きな教科やできること （p.21【Key-Word Game】Japanese～moral education の音声使用） ○【Small Talk②】先生たちがすごい！と思う日本人 ○【Let's Listen 2】だれのことかを聞いて，名前とわかったことを表に書こう。（p.24） ○「自分が紹介したい人物について話そう。」 ○【Sounds and Letters】③ k（ワークシート Unit 3-4）	I'm Hanyu Yuzuru. I have two gold medals. I can skate very well. My nickname is Yuzu. I like Winnie the Pooh. （感想）He is great and cool	【慣②】語順を意識して，自分やある人について紹介している。 （行動観察，誌面・ワークシート点検，振り返りカード点検）
5	【慣】語順を意識して，例を参考に紹介する文を書く。 **「すごい日本人！」紹介カードを書こう。** ○【Small Talk】クラスのみんながすごいと思う日本人 ○「『すごい日本人！』紹介カードを書こう。」	I am Oda Mikio. I am from Kaita. I like sports. I am a triple jumper. I have a gold medal. I can jump long. （感想）He is great!	【慣③】語順を意識して，例を参考に紹介したい人物について紹介文を書いている。 （ワークシート点検，振り返りカード点検）

6 本時	【コ】他者に配慮しながら，第三者について伝え合おうとする。 【慣】語順を意識して，自分やある人について紹介する。 **友達が紹介したい人物を予想しながら質問して，** **Who am I? クイズをしよう。** ○【Small Talk①】ペアの友達にいろいろ質問 （p.20【Key-Word Game】の語彙使用） ○【Small Talk②】先生の選んだ「すごい日本人！」を当てよう ○「どんなやり取りができるかを考えよう。」 ○「ペアグループで『すごい日本人！』Who am I? クイズをしよう。」	【Who am I? ｸｲｽﾞ】 S1: I am an athlete. Who am I? S2: Do you like baseball? S1: No, I don't. S3: Do you have a medal? S1: Yes, I do. I have a gold medal. S4: Are you from Kaita? S1: Yes, I do. S5: Can you jump long? S1: Yes, I can. SS: Are you Mr. Oda Mikio? S1: Yes. I'm Oda Mikio. 【紹介】 I am Oda Mikio. I am from Kaita. I like sports. I am a triple jumper. I have a gold medal. I can jump long. （感想）He is great!	【コ①】他者に配慮しながら，第三者について伝え合おうとしている。 【慣②】語順を意識して，自分やある人について紹介している。 （行動観察，振り返りカード分析）
7	【コ】他者に配慮しながら，第三者について伝え合おうとする。 【慣】語順を意識して，自分やある人について紹介する。 **「すごい日本人！」Who am I? クイズと紹介をしよう。** ○「『すごい日本人！』Who am I? クイズ」 ○「自分の選んだ『すごい日本人！』を紹介しよう。」		【コ①】他者に配慮しながら，第三者について伝え合おうとしている。 【慣②】語順を意識して，自分やある人について紹介している。 （行動観察，パフォーマンス評価，振り返りカード分析）
8	【慣】語順を意識して，自分やある人について紹介したり，例を参考に紹介する文を書いたりする。 **単元力試しをしよう。** ○〔力試し Listening & Writing〕 ・人物についての聞き取り（デジタル教材 p.22【Let's Watch and Think 2】の音声を使用） ・アルファベット小文字（穴埋め 10 問） ・自分の名前，人物紹介（語彙選択）を英語で書く。 **「すごい日本人」紹介カードを読み合おう。** ○「『すごい日本人』紹介カードを読み合おう。」 ○【STORY TIME】Kazu のお気に入りのラグビー選手紹介 **㊁内容面と言語面についてふり返る。**	I am Oda Mikio. I am from Kaita. I like sports. I am a triple jumper. I have a gold medal. I can jump long. （感想）He is great!	【慣②】語順を意識して，自分やある人について紹介している。 【慣③】語順を意識して，例を参考に紹介したい人物について紹介文を書いている。 （行動観察，評価問題，振り返りカード点検）

１０　本時の学習　（第６時　45 分）

目標：【コ】他者に配慮しながら，第三者について伝え合おうとする。

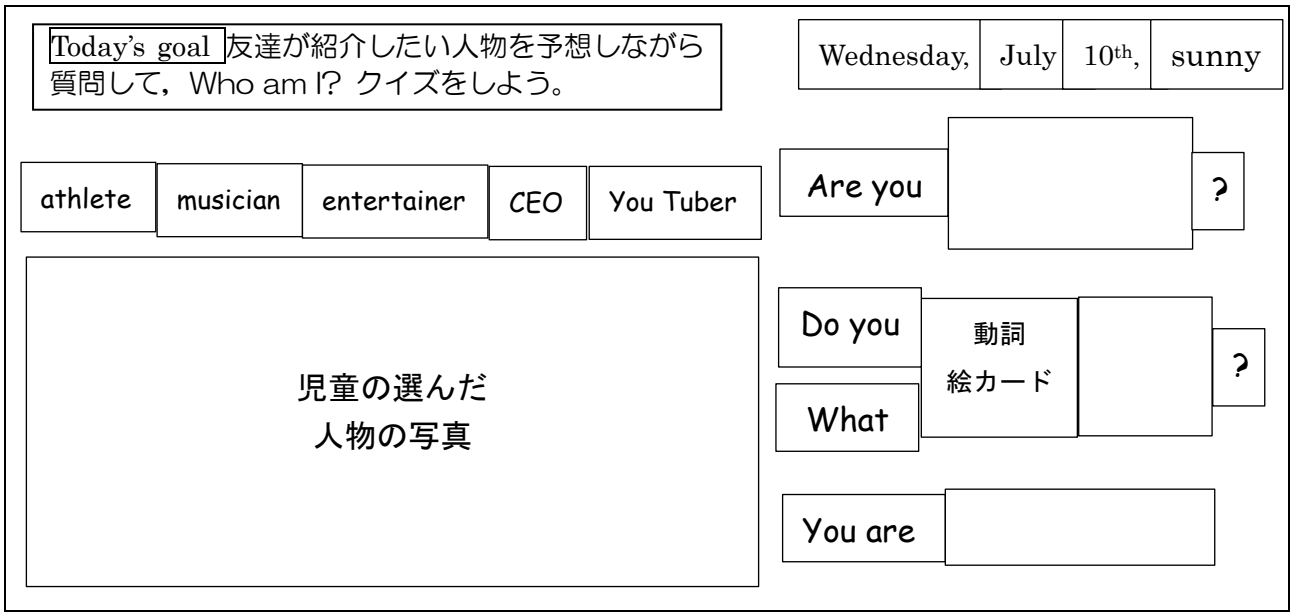
【慣】語順を意識して，自分やある人について紹介する。

準備：タブレット【デジタル教材（We Can! 2)】，表現カード，掲示用人物写真，ワークシート

過程	学習活動	指導上の留意事項（◇） ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 ［評価方法］
導入	○挨拶 ・挨拶をする。（指導者と・ペアで） ・曜日，日付，天気を言う。	◇はっきりとした声で，気持ちのよい挨拶を交わす。 ◇日直と児童全体，児童のペアでのやり取りを行わせる。	
	○【Small Talk①】ペアの友達にいろいろ質問（p.20【Key-Word Game】） ・今までにやり取りした表現を活用して，ペアで自由にやり取りを行う。	◇前時までに行った Small Talk の内容を思い出させる。 ◆机間指導を行い，うまくやり取りのできていない児童を支援する。	
	○【Small Talk②】先生の選んだ「すごい日本人！」を当てよう ・先生に質問をして，どんな「すごい日本人！」かを当てる。 ・どのような表現を使っているか，他にどんな表現が使えるか，その人についてどう思うかなどを発表する。	◇答えを当てるだけではなく，その人物について情報を得ることができるような質問を引き出す。 ◆黒板に掲示した人物写真を指さしたり，使えそうな表現カードを掲示したりして，質問のヒントを与える。 ◇相手に伝わりやすい声や表情，反応を添えるなど，よいやり取りのモデルを示し，本時のめあてに繋げる。	
	※【やり取りの例】 A: Hello.　I am an athlete.　Who am I?　B: Do you play baseball?　A: No, I don't. B: What sport do you play?　A: I play basketball. B: Do you live in America?　A: Yes, I am. B: Are you tall?　A: Yes.　I'm over 2 meters tall. B: Oh, really?　Are you Mr. Hachimura Rui?　A: Yes.　I'm Hachimura Rui. B: Oh, I know you.　You are cool!		
	○本時のめあてを立てる。 **友達が紹介したい人物を予想しながら質問して，Who am I? クイズをしよう。**		
展	○「どんなやり取りができるかを考えよう。」	◇前時までに使用した動詞をカードで提示したり，ワークシートから探させ	

開	・指導者とのやり取りで出てきた表現などをふり返る。 ・黒板に貼ってある人物写真を見ながら，他にどんな質問ができるかを予想する。 ・質問で答えられない内容や，自分が紹介したい人物について十分に伝えられていないときはどう言うかを考える。 ・グループで工夫したいところを相談し，やり取りを行う。	たりして，語順を意識させながら活用できる表現を挙げていく。 ◇ただクイズで当てるだけでなく，その人物についての情報を引き出すためのやり取りを行うことを意識させる。 ◆机間指導を行い，うまくやり取りのできていないグループや，発話していない児童を支援する。	
	○「ペアグループで『すごい日本人！』Who am I? クイズをしよう。」 ・２つのグループでペアを作り，一方のグループ１名が出題者，もう一方のグループ全員（３～４名）が質問・解答者となってやり取りを行う。 ・出題者を変えて，やり取りを行う。 ・全体でどんな表現を用いてやり取りをしたか交流する。 ・再度グループの役割を交代して，やり取りを行う。	◆机間指導を行い，うまく活動のできていないグループや，発話していない児童を支援する。 ◇良いやり取りのできていたグループに全員の前で発表させてもよい。 ◇自分たちが紹介したい人物の良さが伝わるような表現ができるように，内容や話し方などのアドバイスを行う。 ◆難しい表現を使おうとして，うまくやり取りできていない児童には，既習の表現で自分の思いに近いものを活用するよう，アドバイスを行う。	【コ①】他者に配慮しながら，第三者について伝え合おうとしている。 【慣②】語順を意識して，自分やある人について紹介している。 ［行動観察，振り返りカード点検］
	★【めざす子どもの姿】 ・友達が紹介したい人物を予想しながら，どんな質問をすればいいかを考えたり，自分の紹介したい人物についてどのような表現を添えればいいかを考えたりして，「すごい日本人！」Who am I? を行っている。 A: I am an athlete.　Who am I?　B: Do you like baseball?　A: No, I don’t. B: Do you have a medal?　A: Yes, I do.　I have a gold medal. B: Are you from Kaita?　A: Yes, I do.　A: Can you jump long?　A: Yes, I can. B: Are you Mr. Oda Mikio?　A: Yes.　I’m Oda Mikio.　B: You are great!		
まとめ	○本時の活動をふり返る。 ・振り返りカードを書く。 ・振り返りを交流する。	◇児童が紹介したい人物の情報について，お互いに引き出したり伝えたりできるようなやり取りを行おうとしていたことなどを評価し，次回はクラスのみんなでやり取りや発表を行うことを伝える。	

★【めざす子どものふり返りの姿】
○友達の選んだすごい人を予想して，Do you ～? や Are you ～? で質問できた。
○What ～ do you ～ ? の表現を使えば，ひとつひとつ Do you ～ ? で聞かなくても知りたいことが分かった。
○英語でどういえばいいか分からないところがあったけど，＊＊さんが話していた表現が使えそうだと思ったので，次は言えるようになりたい。
○友達に自分の紹介したい人のことを話せてよかった。
○＊＊さんが選んだ人は全然知らない人だったけど，すごい人だと分かった。

○挨拶をする。

１１　板書計画